

2019年8月30日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

慶應義塾大学先端生命科学研究所発のヘルスケアベンチャー サリバテックとの業務連携

～唾液でがんの罹患リスクを測定できる技術により、「セルフ・ヘルスケア」の実現へ～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、唾液でがんの罹患リスクを測定する技術を持つヘルスケアベンチャーである株式会社サリバテック（代表取締役CEO：砂村 眞琴、本社：山形県鶴岡市、以下「サリバテック」）と、お客さまの「健康」に資する最高品質のサービスを提供するため、がんの早期発見や生活習慣病予防の啓発に資する「セルフ・ヘルスケア」の実現に向けた業務連携、協力を進めることに合意しました。

また、損保ジャパン日本興亜のグループ持株会社であるSOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、8月30日付で、サリバテックに出資しました。

1. 背景と目的

人生100年時代における健康寿命延伸は社会的課題であり、日本人の死亡原因トップで、年々増加傾向にあるがんによる死亡者数を減らすためには早期発見・早期治療の実現が不可欠です。

損保ジャパン日本興亜は、安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供を目指して、新たな価値を提供していくことで、お客さまからの支持を得られるよう取り組んでいます。特に近年では慶應義塾大学先端生命科学研究所との包括連携協定に代表されるように、優れた研究開発機関やベンチャー企業などとの提携・投資・人材交流を通して、安心・安全・健康の領域で、さまざまな社会的課題の解決につながるような新事業創造にチャレンジしています。

サリバテックは、慶應義塾大学先端生命科学研究所の研究成果を基に、2013年に設立されたヘルスケアベンチャーです。メタボローム解析^{※1}に関する技術や高度なデータ解析のアルゴリズム開発技術を基盤とし、唾液中の代謝物質を解析してがん罹患リスクを判定する「SalivaChecker[®]^{※2}」を開発、提供しています。

損保ジャパン日本興亜とサリバテックは、健康寿命の延伸という社会的課題の解決に向けて、最高品質の健康増進サービスの研究・開発に共同で取り組むために業務連携・協力を進めています。

※1 メタボローム解析

細胞の活動によって生じる特異的な代謝物質の種類や濃度を網羅的に定量解析する手法。疾患発症因子のスクリーニングやバイオマーカー探索等の分野への応用が期待されている。

※2 SalivaChecker®

サリバテックが提供する、唾液を用いてがん罹患しているリスクを調べる検査サービスの名称。唾液中の代謝物質の濃度を高精度に分析し、がんの異常値を示す物質の濃度をAI等で解析することで、現在のがん罹患リスクを判定。

2. 今後について

急激な少子高齢化社会への移行に伴い、日本が抱える重要な課題の一つである健康寿命の延伸を実現するためには、疾患の予防・早期発見が非常に大きなファクターとなっています。

損保ジャパン日本興亜とサリバテックは、SOMPOホールディングスが有する顧客基盤の活用やグループ各社とも連携した疾患の予防啓発・早期発見の促進につながる健康増進サービスの開発・提供により、健康寿命延伸の実現に貢献していきます。

【参考】サリバテックについて

| | |
|-----------|---|
| (1) 会社名 | 株式会社サリバテック |
| (2) 事業内容 | ・唾液がんリスク検査事業 ・新規リスク検査開発事業 ・研究検査受託事業 |
| (3) 設立年月日 | 2013年12月 |
| (4) 本社所在地 | 山形県鶴岡市覚岸寺字水上246番地2 D-16 |
| (5) 代表者 | 代表取締役CEO 砂村 眞琴 |
| (6) 資本金 | 2億605万円(2019年3月末) |

以上